



大会宣言 ~~(案)~~

私たちJR東日本輸送サービス労働組合三多摩支部は、本日、河辺事務所会議室において、第5回定期大会を開催した。全ての仲間の「共感」に留まらず、共に創る「共創」へ。輸送サービス労組運動の強化と拡大を実現させることを確認した。

日本の鉄道が開業から150年を迎えた今、その安全は危機的である。私たちは、これまでも人の命が奪われかねない事故・事象の頻発する状況に、警鐘を鳴らし続けてきた。しかし現在、絶対に起こしてはならない事故が立て続けに発生している。川越線でのデッドロックや東海道線での異線進入、北陸新幹線では作業時間帯区間に列車が進入。内房線で発生した感電事故では協力会社社員1名の命が奪われた。金儲けに直走る企業体質が安全を“二の次”にしているからだ。作業の効率化・システム依存を進めてきた結果、現場力が低下していることは大きな課題である。命を守るために、現場力を高め、健全な倫理観を持つ企業風土と安全文化を、職場からつくり上げよう。

コロナ禍に直面した3年間、私たちはエッセンシャルワーカーとしての使命と責務を果たしてきた。「赤字脱却」「黒字達成」と言われながら、少なくなった要員で増大する業務をまわしてきた。JR東日本の2022年度決算は、全セグメントが増収増益というもので、3期ぶりの黒字化を達成した。しかし会社は、社員に対する正当な評価・真っ当に還元しない姿勢を露わにした。2023年賃金引上げは、物価高に負けないペースアップを目指し《全社員一律3,000円+基本給に対し全社員定率4%》を求めると、会社は「生計費はペアの一つの考慮要素」としながら、《定額4,000円+所定昇給額の4分の1》の回答であった。申35号・夏季手当は《3.2ヶ月分+10万円》を求めて職場から運動をつくったものの、要求には遠い《2.5ヶ月分+5万円》という回答となった。

未曾有の物価上昇の中、多くの施策を担いながら黒字化を実現した組合員から経営陣に対して、「このままでは生活できない」「物価高に賃金が追いついていない」「預貯金を切り崩して生活している」「黒字のために頑張ったのに報われない」「現場の苦勞を見る」「社員に還元しろ」「社員の生活には賃金が直結している」という不満や怒り、悲痛な声が出された。

さらに、会社はこの交渉で、昨年の夏季手当交渉時における3点の労使の確認事項について、「一字一句確認したものではない」と回答した。私たちは、この不誠実かつ詐欺的な会社の姿勢を断じて許さない。本部交渉団は職場の声を基に、誠実交渉義務違反を糺す通知書を手交しながら、以下の「新たな3点」を労使で確認した。

- 黒字化は現場の尽力の結果。奮闘に感謝申し上げる。
- 組合員ならびに社員の声をしっかりと受け止める。
- 会社の持続的成長のためには、社員の働きがい・労働条件向上・健康増進が不可欠。社員・家族の幸福の実現を図っていく。

職場から、輸送サービス労組運動を更に強化・拡大しつつ、未だ回答のない夏季手当不足分となる《0.7ヶ月分+5万円》を求めた申38号の要求を実現させよう。

6月7日、「JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件」の都労委命令が手交された。“全部救済”とされた命令内容は、組合員2名の行なったパンフレット配布は、勧誘という労働組合の重要な活動かつ正当性を有するもの。会社に対しては、2名への処分も揭示等の行為も、組合活動に対する不当な支配介入の不当労働行為であると断罪した。私たちは、都労委命令の速やかな履行を強く求める。8月10日の「脱退パワハラ訴訟」も、必ず勝利判決を勝ち取る。「ジョブローテーション」施策で、鉄道の安全と社員の生活を壊し続ける経営を糺すためにも、あらゆる不当労働行為救済申立ての“完全勝利”を掴み取ろう！

あったことをなかったことにしない！

三多摩支部結成の原点を忘れず、2023年を勝利元年とする。JR東日本グループ全体に蔓延る不当労働行為を根絶させ、誰もが安心して働ける健全な職場を取り戻そう！

鉄道ネットワークが奪われようとしている。「36路線72区間」の問題は、地方ローカル線現地踏査を通じて地域・利用者の声を掴み、必要とされるJR東日本でなければならないことを実感した。今ある現実と問題を直視し、労働条件向上と労働環境改善、安全な鉄道、差別のない健全な職場の構築に向け、職場から議論を深めよう。JTSU議員懇、地域・利用者との連帯を強化し、「輸送サービス労組未来ビジョン」を実現しよう。輸送サービス労組運動の強化・拡大と「働きがい」「生きがい」「心の豊かさ」を実現するために奮闘しよう！

以上、宣言する。

2023年7月21日
JR東日本輸送サービス労組
八王子地本三多摩支部第5回定期大会

支部は分会と共創！
組合員のため！

何かあればみんなが集まって話し合おう！

あらゆる不当労働行為を根絶させ、全ての仲間と共に安心して働ける健全な職場を取り戻し、働きがい・生きがい・心の豊かさを実現しよう！